

# レ ス ス ン プ ラ ン

2 学年 第 5 回 (問題解決)

活動の中で全面には出しません。  
背後に流れるものとして扱いたい



テーマ：「いろいろなおんがく」

## 授業の目標：

- (1) どんな国でも音楽を楽しんでいることと、音楽のもつ力に気づく
- (2) 他国や異文化への興味・関心を高める

用意するもの

ALT

担当教師

- 音楽
- 国別カード
- 楽器

- CDプレーヤー
- できれば、日本の楽器（三味線、太鼓、笛等  
学校にあるものを準備。写真や音なども可）

時間	活 動	気づいた点
2分	ALTは、楽器を使って自国の音楽を紹介し、本時のテーマを伝える。	
5分	ALTは子どもたちに、自分の国の歌を教える。	
6分	担当教師は子どもたちに「どんな音楽が好きか」や「大好きな歌手は誰か」等を尋ね、あわせて理由も聞く。	
10分	ALTと担当教師は協力して、「世界の音楽クイズ」を行う。子どもたちは3～4人のグループになり、異なる音楽を聴いてどの国の音楽かを、国別カードをあげて答える。担当教師は、グループの答えを黒板に書き留め、結果をまとめる（次ページ「スコア表」を参照）。担当教師は、クイズ終了後、子どもたちに他の国の音楽を聴いてどんな感じがしたか、感想を聞く。	
10分	ALTは他の国の楽器を紹介する。その後、担当教師と子どもたちは、ALTに日本の楽器を簡単に紹介する。	
10分	全員で「イスとりゲーム」をする。（イスは円状に配置）イスに座れなかった子どもは円の真中に座る。そうやってイスをひとつずつなくしていき、最後まで残った者が勝ち。	
2分	まとめとして担当教師は、「音楽は他の国の文化を知るための素晴らしい方法であること」や「どこの国の人たちもみんな音楽を大切にしている」ことを子どもたちと確認する。また、「音楽は人々の気持ちをつなげていけるもの」でもあることを紹介し、（例えば「イマジン」（ビートルズ）などを例に、世界で現在問題になっているテロ問題なども音楽で世界平和を実現していこうという動きがあり、）音楽は問題を解決するための力を与えてくれるものであったり、心を1つにしていくための力があったりする等、子どもたちの理解の範囲で、音楽の持つ力についても触れる。	